

結核予防週間について

9月24日(土)から30日(金)までは、結核予防週間です。結核は、現在でも国内で約24,000の方が罹る感染症で、過去の病気ではありません。北播磨地域では、結核を罹っている方の割合が平成21年に全国値を上回りました。中でも加西市は、その割合が最も悪く、特に高齢者の方が多くなっています。



次の予防方法を参考に、結核の感染を防ぎましょう。

■ 予防法

- ・食事、運動、休養など健康管理に気をつけて、病原体への抵抗力を高めること。
- ・乳児は生後3か月～6か月未満の間にBCG接種を受けること。
- ・長引く咳や痰、微熱などのような症状が2週間以上続くときは早めに医療機関を受診すること。
- ・年に1回胸部検診を受けること。加西市では、町ぐるみ健診(20歳以上)、医療機関健診(40歳以上)で胸部検診が受けられます。詳しくは、4月に配布した健診特集号や市ホームページをご覧ください。

【問合せ】 国保健康課健康担当 ☎④8723 FAX④7521 kenko@city.kasai.lg.jp

健康増進センター「夜間トレーニング」のお知らせ

健康増進センターで「夜間トレーニング」を始めませんか。昼間の時間に利用できない方のために、月・水・金曜日は、夜8時まで開館(火・木曜日は9:00～17:00)しています。

次のトレーニング教室を開催していますので、体力向上やシェイプアップ、ストレス解消に、ぜひご利用ください。

■ 夜間のトレーニング教室

開催曜日	内容	実施時間	料金
月	体ひきしめ筋トレ教室	19:00～19:45	1回150円 (中学生以下は70円)
水	たのしいエアロビクス教室		
金	疲労回復ストレッチ教室		
月・水・金	自主トレーニング(エアロバイクなどセンターの運動器具を開館時間内に自由に使用いただけます。トレーニングメニューを相談により運動指導員が作成します)	19:45まで	



■健康増進センター
(市立加西病院隣)

※土日・祝祭日は休館です。
※利用にあたっては「施設利用証」が必要です。
詳しくは、下記までお問い合わせください。

【問合せ】 健康増進センター ☎④3621 FAX④3622 kenko@city.kasai.lg.jp

9月10日から16日は、自殺予防週間です

日本における自殺者数は、平成10年以降毎年3万人を超えています。加西市では、平成19年から21年の3か年の平均自殺者数は14人。女性より男性が多い状況です。

自殺は、個人の問題ではなく、その背景には、家庭・健康・経済状況・仕事・学校等の様々な社会問題があります。そして、自殺を考えている人は小さなサインを発しています。

大切な命を守るため、大切な人の悩みに気づいてください。声をかけてください。話を聞いてください。もし、あなた自身が悩んでいたなら、一人で悩むよりまず相談をしてください。

一人ひとりにできることがあります。お互いが寄り添い、支え合うことを大切にしましょう。

自殺対策携帯サイトのQRコード



【問合せ】 国保健康課健康担当 ☎④8723 FAX④7521 kenko@city.kasai.lg.jp

加西病院のコーナー

加西病院ホームページ <http://www.hospital.kasai.hyogo.jp>

病院市民フォーラム開催のお知らせ

■ 第1回フォーラム開催前夜

加西病院市民フォーラムが始まったのは平成18年の夏でした。新聞紙上に「医療崩壊」という言葉が並び始めた年でした。医療崩壊に対する当時のメディアの認識は、「医師臨床研修制度で2年間分の新卒医師が診療科に補充されなかったため、医師不足に陥った大学が医師を地域から大学病院に呼び戻し医師不足が生じた」というものでした。

しかし私たち病院関係者は、医学部定員削減や医師に事務仕事まで強いる医療提供コストの抑制という国の長きに渡る医療費亡国論政策のツケが、ようやく人の命という岩盤とぶつかり矛盾を露呈してきたと感じていました。折から加西病院では小児科医半減、産婦人科引き揚げ、泌尿器科引き揚げなどが重なり、院の内外で危機感が高まり、有志の市民に引張られる形で第1回加西病院市民フォーラムが開催され、多数の市民の参加を得ました。

■ フォーラムの趣旨

あれから5年が経ちました。幸いなことに入院休止に至った産婦人科、泌尿器科、眼科は常勤の医師を得て再開が叶いました。残念ながらまだ小児科、眼科、麻酔科、放射線科、耳鼻科は本来の複数医師体制に戻っていませんが、常勤医師全体では過去最高の人員を更

新しました。医師と同じくらい厳しい不足と獲得競争が繰り返されている看護師・助産師についても着実に人員を伸ばしています。

では加西病院は今安定状態なのかと言いますと、とんでもないというのが病院事業管理者院長としての認識です。本院のような一市5万人を医療圏とする中規模病院が、国が誘導する機能分化戦略による医療制度改革ならびに広域病院再編を乗り越えて元気な病院であり続けられるのか、市民も病院も行政も余程の覚悟を持たねばならないと考えています。

加西病院は国の制度改革と地域間競争の狭間で、急性期病院としての活性を維持できるか今後も細い糸の上を歩き続けなければなりません。そのことを一人でも多くの市民が認識しなければ、病院への救いの手は伸びてきません。一人の市民が認識することで5万分の1の希望が生まれるのです。そのことがフォーラム開催の趣旨です。

■ 今年の市民フォーラム

今年は下記のとおり、フォーラム開催という運びとなりました。

今回は外部の有識者に地域医療と自治体病院の問題について講演をお願いし、さらに議論を深めたいと考えています。当日はお誘い合わせ頂き、沢山の市民の方々の参加をお待ちしています。

(病院事業管理者・院長 山邊裕)

■ 第5回市立加西病院市民フォーラム

日時・場所 / 9月26日(月) 19:00～20:30、加西市健康福祉会館大ホール

内容 / 基調講演「地域医療 再生への処方箋」城西大学経営学部 伊関友伸教授
伊関教授と山邊院長の対談

問合せ / 病院事務局 ☎④2200 FAX④3460 byoin@city.kasai.lg.jp



前回の第4回加西病院市民フォーラム

市立加西病院事務職員募集(平成24年4月1日採用)

9月30日(金)までに必要書類を持参(平日8:30～17:15受付)または郵送でお申し込みください。

職種(各1名)	受験資格
診療情報管理士	昭和46年4月2日以降に出生し、高等学校以上の学歴を有する人で、次の①②いずれの要件も満たす人 ①医療機関においてDPC等医療事務の実務経験が概ね1年以上ある人 ②四病院団体協議会及び財団法人医療研修推進団体が認定した「診療情報管理士」の資格を有する人
病院一般事務	昭和56年4月2日以降に出生し、4年制大学を卒業、または平成24年3月に卒業見込みの人

※募集要項や受験申込書は市立加西病院ホームページからダウンロードできます。また下記でも配布しています。

【申込先】 〒675-2393(住所表記不要)市立加西病院総務課総務係(病院東館2階) ☎④2200